

研究支援の基礎知識と最新のトレンド

ー今大学に求められる研究とは？ー

開催趣旨

近年、日本の研究力の低下が指摘されています。政府は、日本全体の研究力を向上させ、新たな価値創造を促進するため、いわゆる 10 兆円大学ファンドによる「国際卓越研究大学」への支援や、「地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ」による「地域中核・特色ある研究大学」の機能強化を進めています。

前者は、国際的に卓越した研究成果を生み出す世界最高水準の研究大学の実現を目指すもので、2024 年 12 月に東北大学が初の認定を受けています。後者については、2023 年度から 2024 年度にかけて、文部科学省が「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」の公募を行い、25 大学を選定しています。地域中核・特色ある研究大学には、特定分野の研究の強みを強化し、大学間での効果的な連携を図ることで、日本の研究力を牽引する研究大学群を形成することが求められています。

大学における研究支援はこれまで、産学連携や知的財産、研究費執行など研究活動に特化した部門の業務という印象が強かったかもしれませんが。しかしながら、今日の大学は単なる教育機関としてではなく、それぞれが持つ研究の強みや特色を活用・強化することで、地域レベルから地球規模にいたる様々な社会課題を解決し、地域の活性化やイノベーションの創出につなげる研究機関としての役割も期待されています。別の言い方をすると、研究活動とその成果は、大学の他の側面（教育の質向上、多様な人材の育成・活躍、ブランド価値の向上、財務構造の改革等）とも密接に関わり、相互に影響するものという認識が重要です。

この研修では、研究支援部門における伝統的な業務内容の基礎から、今日的な役割・意義の理解を通じて、参加者の所属する部署や従事する業務と「研究」のつながりに気付くとともに、現在の所属部署や業務の価値をどのように高められるかを一緒に考えましょう。

対象の目安

全教職員（所属部署に関わらず、どなたでもご参加いただけます）

開催日時

2025 年 7 月 23 日（水）13：00～16：00

会場

キャンパスプラザ京都

募集定員

最大 25 名

※ 大学コンソーシアム京都加盟大学・短期大学優先および先着順

※ 定員を超過したときは、参加をお断りする場合がございます。

※ 申込人数が定員を大きく下回るときは、開講しない場合がございますのでご了承ください。

参加費用・振込期限

加盟大学・短期大学 1,000 円

非加盟大学・短期大学 4,000 円

※ 請求書をお送りいたします。指定の口座にお振込みください。

【振込期限】 2025 年 7 月 18 日（金）

※ 期日までにお振込みいただけない場合は、事前にご連絡ください。

申込方法・申込期間

【申込方法】

WEB ページよりお申込みください。

<https://www.consortium.or.jp/project/sd/joint-p>

【申込期間】

2025 年 6 月 11 日（水）10：00 ～ 7 月 9 日（水）17：00

研修プログラム

<事前課題>

・参加者が所属する大学の研究活動をひとつ取り上げ、それが社会のどのような場面で使えそうかをパワーポイントのスライド 1 枚に簡潔にまとめてきてください。

※フォーマットは自由です。

※当日のグループワークで使用します。

<当日の内容>

■講義「研究支援の基礎知識」

- ・研究支援の ABC
- ・最近の国の政策動向
- ・これからの研究支援のあり方

■グループワーク

- ・各参加者から事前課題の共有
- ・グループで取り上げるテーマの決定
- ・講義を踏まえたテーマのブラッシュアップ
- ・発表スライドの作成

■発表・まとめ

- ・グループからの発表
- ・質疑応答
- ・研修のまとめ

※当日のグループワークと発表で使用しますので、パワーポイントが入ったノート PC を持参してください。

講師

廣瀬 充重 氏

立命館大学研究部次長、J-PEAKS トランジションディレクター

京都外国語大学外国語学部卒業、東京外国語大学大学院地域文化研究科修士課程修了。在日フランス大使館において国際産学連携に従事した後、2011 年に学校法人立命館に入職、研究部 BKC リサーチオフィスに配属。2024 年度より研究部・次長。入職以来、今日にいたるまで研究部に在籍し、大型公的資金の獲得戦略を主導するとともに、学内の研究政策の立案に従事。文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」においてリエゾンを担当。